



取扱説明書



ハマナカ株式会社

〒616-8585 京都市右京区花園薮ノ下町2番地の3
TEL (075) 463-5151 (代) FAX (075) 463-5159

ハマナカコーポレートサイト
hamanaka.co.jp

メールアドレス
info@hamanaka.co.jp

手編みと手芸の情報サイト



あむゆーず 検索



はじめに

織美絵は、おさとそうこうを一体化することによって、織機に直接タテ糸を簡単に張ることが出来、初心者の方でも自由にデザインを楽しんで頂ける理想的な手織機です。

しかも軽量でコンパクトなので持ち運びにも大変便利です。

難しいことは一切抜きにして、まず創る喜びを味わってみて下さい。

どんな出来上がりでも自分の創ったものはかわいいものです。

後はコーディネート次第、自分流のオシャレを大いに楽しんで下さい。

織美絵

織美絵の正しい使い方をご理解いただくために、まずこの説明書をご覧下さいますようお願い申し上げます。

目次

●部品と名前の説明、他に用意するもの

オリヴィエリラ40	1ページ
オリヴィエアルテア	2ページ
オリヴィエ40・60cm幅	3ページ

●オリヴィエアルテアの準備

4ページ

●タテ糸の必要な長さ、本数の計算方法

4ページ

●タテ糸の準備

4・5・6・7ページ

●整経台の使い方

5・6ページ

●織りましょう

7・8ページ

●机に掛けて織る

8ページ

●ヨコ糸のかえ方(ヨコ糸の色替え、継ぎ足し)

8ページ

●織り地を巻き取る

8ページ

●収納・持ち運び方法

9ページ

●織り終わり

9ページ

●仕上げ方

10ページ

●二重織りの織り方

10・11・12ページ

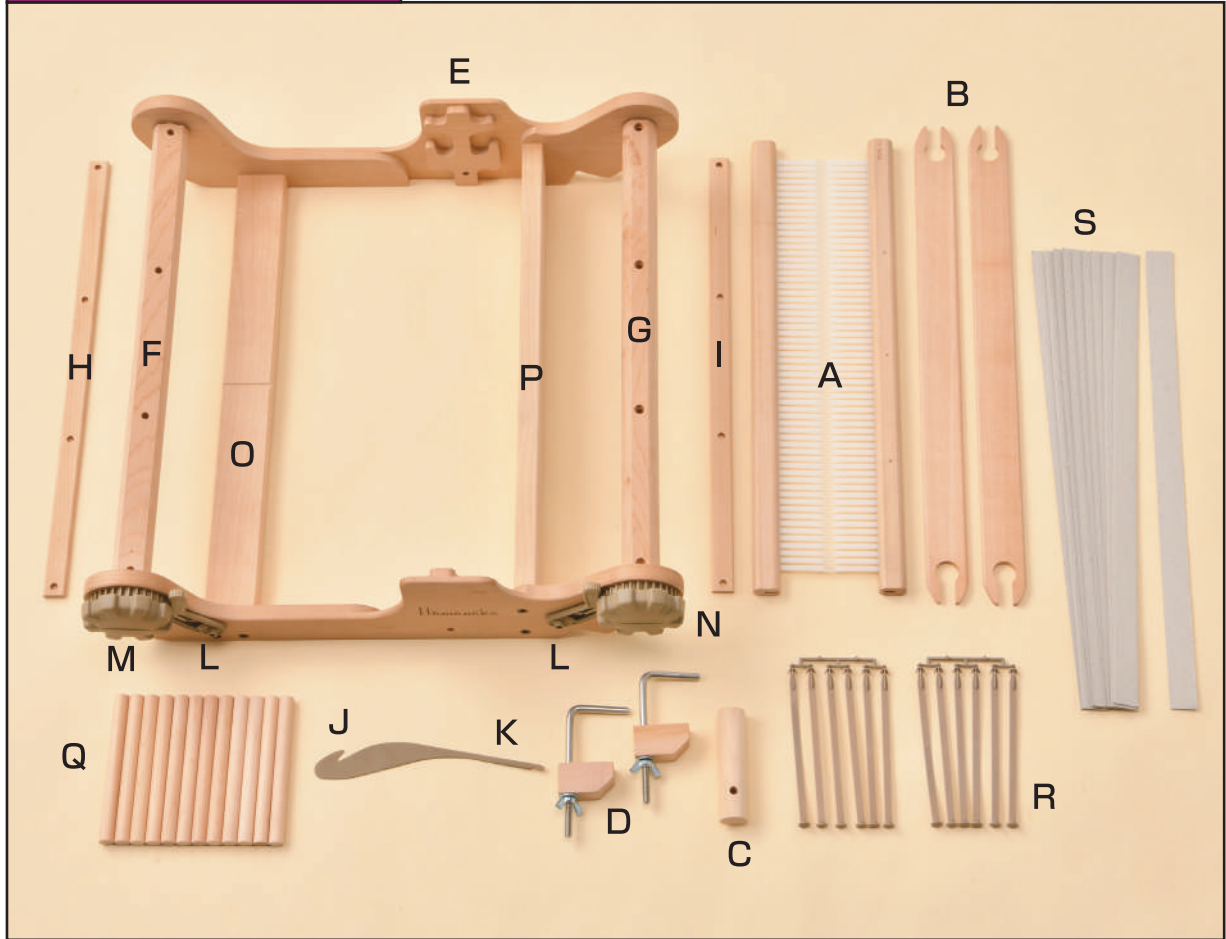
●綾織りの織り方

13ページ

付属の取扱説明DVDでは織美絵の使い方を動画で分かりやすく解説していますので、あわせてご覧下さい。

オリヴィエリラ40

部品と名前の説明



A.ヘドル（タテ糸を上下に分けるそうこうの役目とヨコ糸を打ち込むおさの役目の2役をします。）

B.シャトル（ヨコ糸を巻き付けます。）

C.ペグ（タテ糸を張る時にここへ糸を引っかけます。）

D.クランプ（本体とペグを固定する時に使います。）

E.サイドポスト（ヘドルをアップポジションとダウンポジションに上下させ、ヨコ糸の糸道をつくります。タテ糸を張るとき・織り地を巻き取るときは、ヘドルをレストポジションに置きます。）（図A）

F.フロントローラー

G.バックローラー

H.フロントスティック

I.バックスティック

J・K.ツインフック（下記のふたつの機能があります。）

J.リードフック（ヘドルの隙間にタテ糸を通す時に使います。）

K.ヘドルフック（ヘドルの穴にタテ糸を通す時に使います。）

L.ストッパー（フロントギア・バックギアを固定しています。）

M.フロントギア

N.バックギア

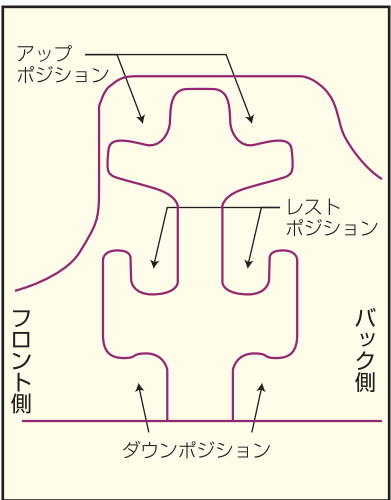
O.フロントレール

P.バックレール

Q.ワープスティック（本体裏面を整経台として使う時に裏の穴に差し込みます。）

R.ジョイント（スティックとローラーをつなぐ役目をします。）

S.カードボード（捨て糸や巻紙の代わりに使います）



図A

※オリヴィエリラ40はヘドルを2枚セットすることができます。
ヘドル1枚で織る場合は、フロント側のポジションのみを使用します。

他に用意するもの/はさみ・定規・捨て糸（極太ぐらいの糸）・巻き紙（カレンダーぐらいの厚さ）

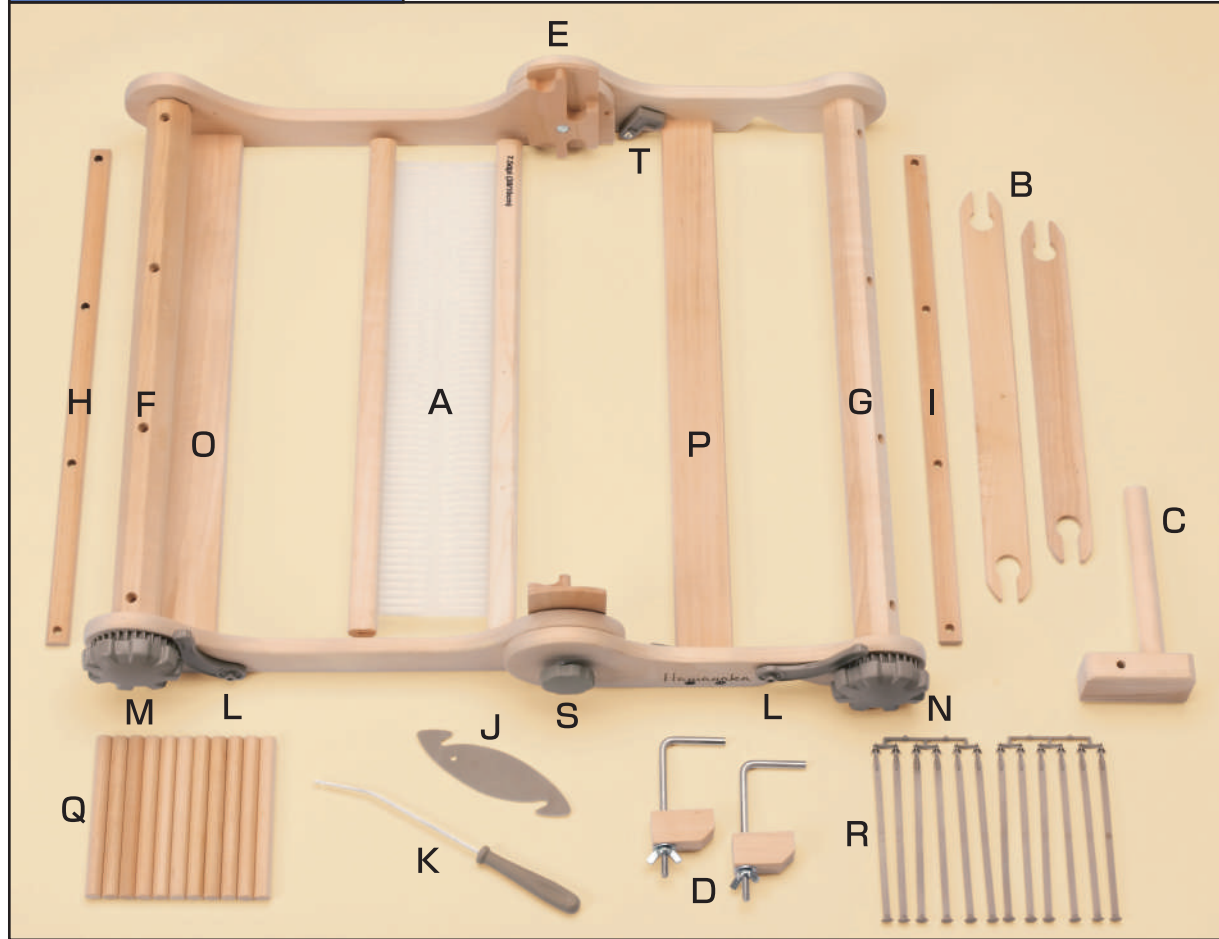




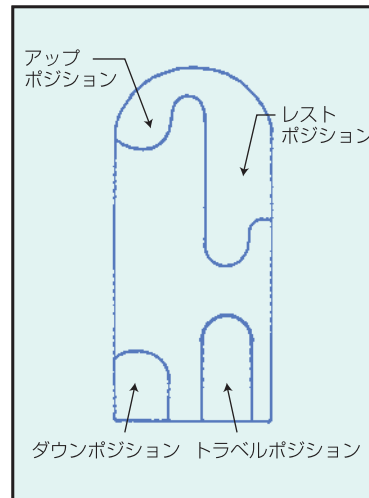
オリヴィエアルテア

現在、お取り扱いはありません。

部品と名前の説明



- A.**ヘドル（タテ糸を上下に分けるような役目とヨコ糸を打ち込むおさの役目の2役をします。）
- B.**シャトル（ヨコ糸を巻き付けます。）
- C.**ペグ（タテ糸を張る時にここへ糸を引っかけます。）
- D.**クランプ（本体とペグを固定する時に使います。）
- E.**サイドポスト（ヘドルをアップポジションとダウンポジションに上下させ、ヨコ糸の糸道をつくります。タテ糸を張るとき・織り地を巻き取るときは、ヘドルをレストポジションに置きます。折りたたむ時は、ヘドルをトラベルポジションに置きます。）（図B）
- F.**フロントローラー
- G.**バックローラー
- H.**フロントスティック
- I.**バックスティック
- J.**リードフック（ヘドルの隙間にタテ糸を通す時に使います。）
- K.**ヘドルフック（ヘドルの穴にタテ糸を通す時に使います。）
- L.**ストッパー（フロントギア・バックギアを固定しています。）
- M.**フロントギア
- N.**バックギア
- O.**フロントレール
- P.**バックレール
- Q.**ワープスティック（本体裏面を整経台として使う時に裏の穴に差し込みます。）
- R.**ジョイント（スティックとローラーをつなぐ役目をします。）
- S.**サイドギア
- T.**L字型ストッパー



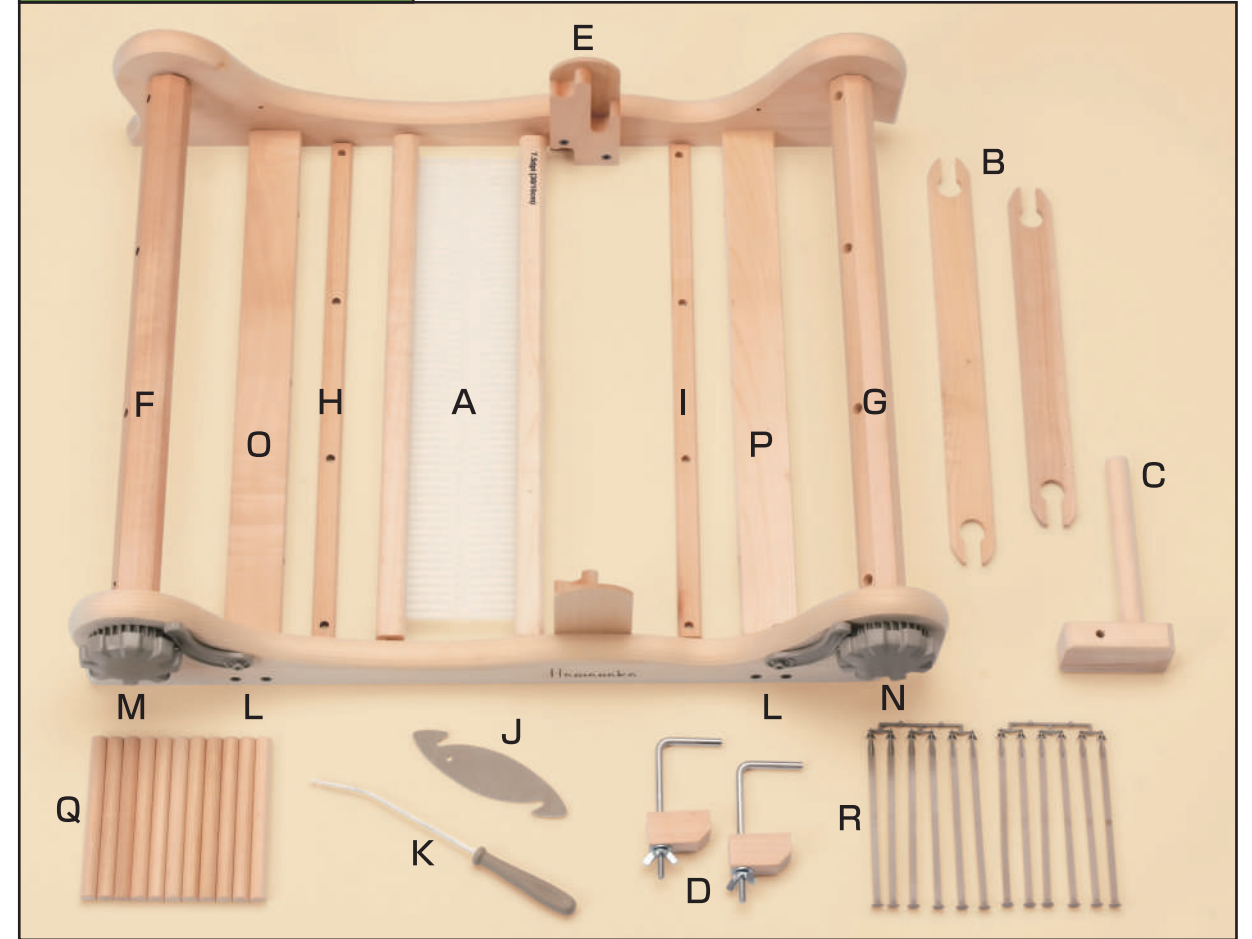
図B

他に用意するもの/はさみ・定規・捨て糸（極太ぐらいの糸）・巻き紙（カレンダーぐらいの厚さ）

オリヴィエ40・60cm幅

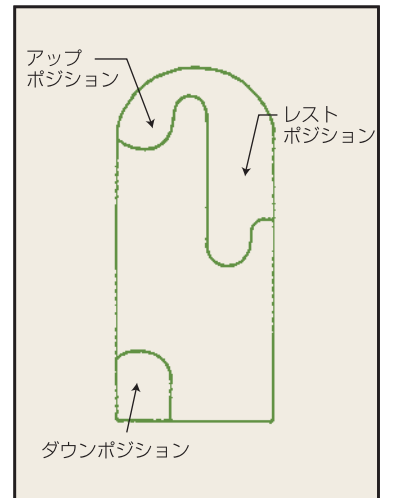
現在、お取り扱いはありません。

部品と名前の説明



※写真は40cm幅のセット内容です。

- A.**ヘドル（タテ糸を上下に分けるような役目とヨコ糸を打ち込むおさの役目の2役をします。）
- B.**シャトル（ヨコ糸を巻き付けます。）
- C.**ペグ（タテ糸を張る時にここへ糸を引っかけます。）
- D.**クランプ（本体とペグを固定する時に使います。）
- E.**サイドポスト（ヘドルをアップポジションとダウンポジションに上下させ、ヨコ糸の糸道をつくります。タテ糸を張るとき・織り地を巻き取るときは、ヘドルをレストポジションに置きます。）（図C）
- F.**フロントローラー
- G.**バックローラー
- H.**フロントスティック
- I.**バックスティック
- J.**リードフック（ヘドルの隙間にタテ糸を通す時に使います。）
- K.**ヘドルフック（ヘドルの穴にタテ糸を通す時に使います。）
- L.**ストッパー（フロントギア・バックギアを固定しています。）
- M.**フロントギア
- N.**バックギア
- O.**フロントレール
- P.**バックレール
- Q.**ワープスティック（本体裏面を整経台として使う時に裏の穴に差し込みます。）
- R.**ジョイント（スティックとローラーをつなぐ役目をします。）

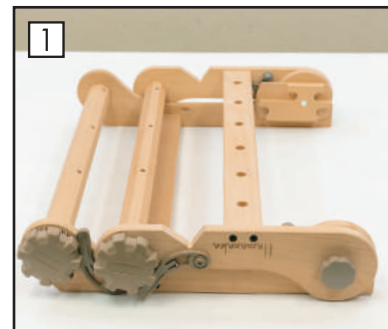


図C

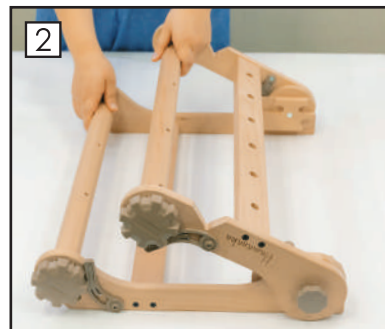
他に用意するもの/はさみ・定規・捨て糸（極太ぐらいの糸）・巻き紙（カレンダーぐらいの厚さ）



1. オリヴィエアルテアの準備 現在、お取り扱いはありません。



箱から出した状態。



サイドギアをゆるめ、本体を広げます。

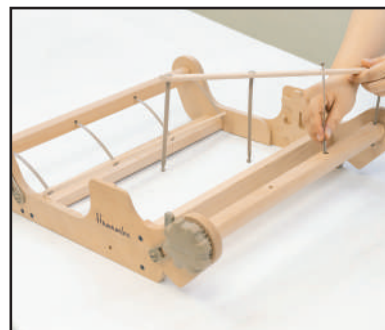


サイドポストを垂直になるように起こし、サイドギアをしめて固定します。

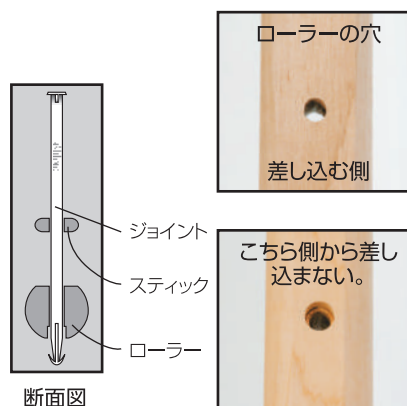
2. フロント・バックスティックをローラーに取り付けます。(全シリーズ共通)



スティックにジョイントを差し込みます。



ローラーの向きに注意して差し込みましょう。



タテ糸の準備

タテ糸の必要な長さ、本数の計算方法

タテ糸の長さの計算方法

基本式 $\boxed{\text{織りたい長さ} \rightarrow \text{最大約260cm丈}} + \boxed{\text{縮み分10\%}} + \boxed{\text{ロス分約30cm}}$
フサの丈を長くする場合はロス分を多めにとって調節します。

タテ糸の本数の計算方法

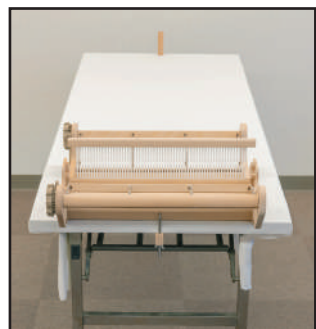
基本式 $\boxed{\text{織りたい幅(通し巾)}} \times \boxed{3[\text{ヘドル30羽(30本/10cm)の場合}]}$

(例) 25cmの幅を織る場合

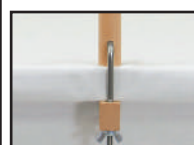
●ヘドルが60羽の場合 $25\text{cm} \times 6 = 150\text{本}$
●ヘドルが50羽の場合 $25\text{cm} \times 5 = 125\text{本}$
●ヘドルが40羽の場合 $25\text{cm} \times 4 = 100\text{本}$
●ヘドルが30羽の場合 $25\text{cm} \times 3 = 75\text{本}$
●ヘドルが20羽の場合 $25\text{cm} \times 2 = 50\text{本}$

※素材や織り方により縮み分は異なります。
また、幅も通し巾に比べ織り上がり約10%縮みます。

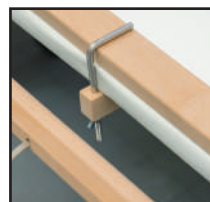
3. 本体とペグを織りたいものの長さに合わせて固定します。ペグは本体中心の延長線上に来るように取り付けます。ヘドルをレストポジションに置きます。(オリヴィエリラ40はフロント側のレストポジションに置きます。)



ペグの固定のしかた



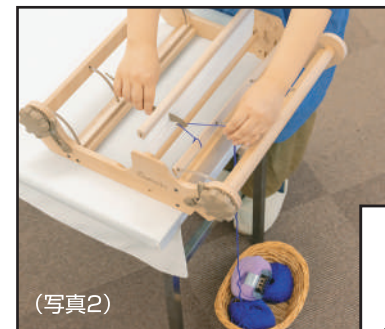
※オリヴィエアルテア
はバックレールと机
をはさんで固定しま
す。



4. バックスティックに糸端を結び(写真1)、リードフックでヘドルの隙間から糸を引き込み(写真2)、ペグにタテ糸を掛けます(写真3)。



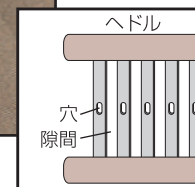
(写真1)



(写真2)



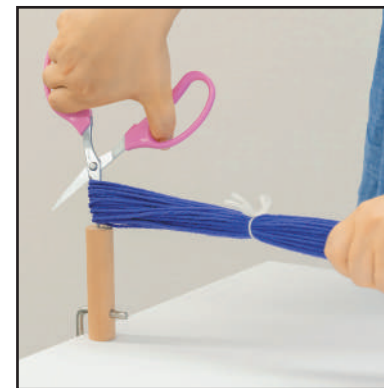
(写真3)



5. タテ糸がたるまない様に、バックスティックとペグの間を必要な幅だけ4.の作業を繰り返し、タテ糸を張ります。最後の糸端は糸がたるまないようにバックスティックに結びつけます。



6. ペグの近くを別糸できつく束ね、ペグの所でタテ糸を切ります。



整経台の使い方

ペグを取り付けるスペースがとれない場合、本体裏側の穴にワープスティックを差し込み、整経する方法もあります。

※オリヴィエアルテアの場合サイドポストは起こさずに本体を広げ、サイドギアをしめて固定し、裏返します。

オリヴィエアルテア

現在、お取り扱いはありません。



オリヴィエ40

現在、お取り扱いはありません。

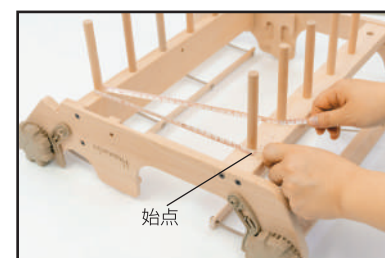


オリヴィエ60

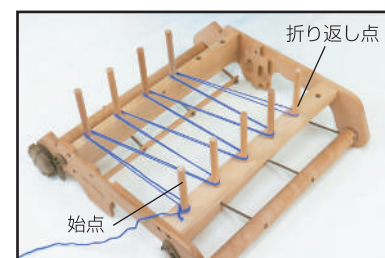
現在、お取り扱いはありません。



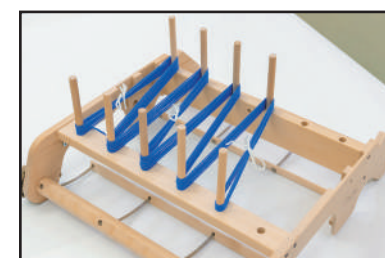
オリヴィエ リラ40



① 本体を裏返し、必要なタテ糸の長さに合わせてワープスティックの位置を決めて立てます。



② 始点に糸端を結び、はかった通りに糸をかけていきます。往復で2本分になります。



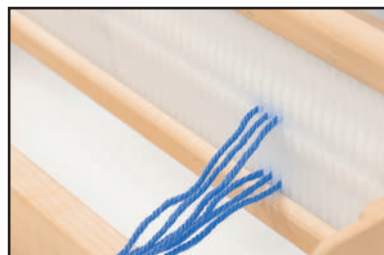
③ 必要本数とり終わったら、絡まり防止のため、始点近くと、数カ所を別糸で結びます。



④ 始点と折り返し点の輪を切ります。
タテ糸の準備ができました。



⑤ バックローラーを手前にし、ヘドルを
レストポジションに置きます。
糸端は軽くフロントローラーに結んで
おきます。



⑥ ヘドルフックを使い、タテ糸をヘドルの
隙間と穴に交互に通していきます。
7ページの図Dと同様にバックスティ
ックに糸端を結びつけます。
あとは7.の手順通りにタテ糸を張ります。

7. 巻き紙をはさみこみながら、タテ糸をたるまないように均一に糸を引き、バックギアを回して、巻き
取ります。



8. オリヴィエアルテアの場合 現在、お取り扱いはありません。

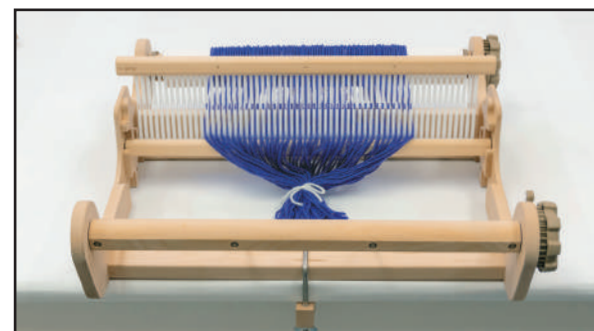
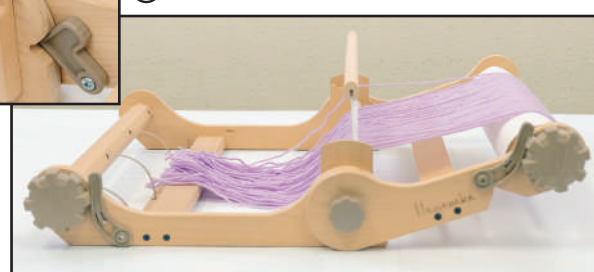
本体と机を固定しているクランプをはずし、サイドギアをゆるめ
ます。フレームを起こし、本体内側にあるL字型ストッパーを切り
込みにはめ、(写真㊸)サイドギアをしめなおします。(この時、サ
イドポストが垂直なままであるように注意します。)

9. 本体の向きをフロントローラーが手前にな
る様に固定し直します。



㊸

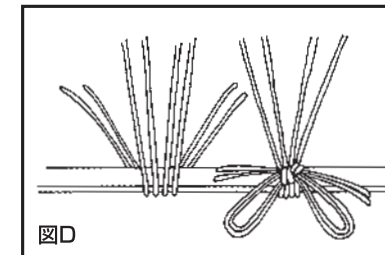
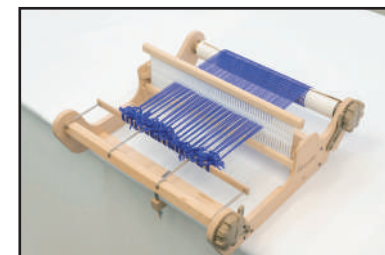
※フレームを起こさなければ、
織ることができません。



10. ヘドルの隙間に通っているタテ糸の2本のうち、1本だけ後ろに抜き、ヘドルフックを使って左側
の穴に通します。隙間のタテ糸2本のうち1本をすべて左の穴に通します。



11. フロントギアとバックギアをストッパーで固定し、図Dのようにタテ糸を4本ずつフロント
スティックに結びつけていきます。このとき、タテ糸の張りが均等になるよう注意しましょう。



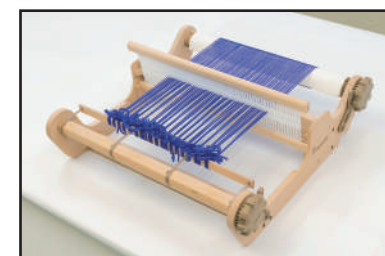
図D

織りましょう

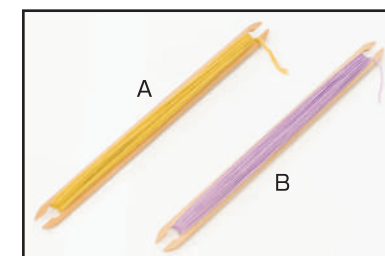
1.



バックギアのストッパーをはずし、フロントスティックを手前に巻き取って、タテ糸が
ピンと張った状態にします。



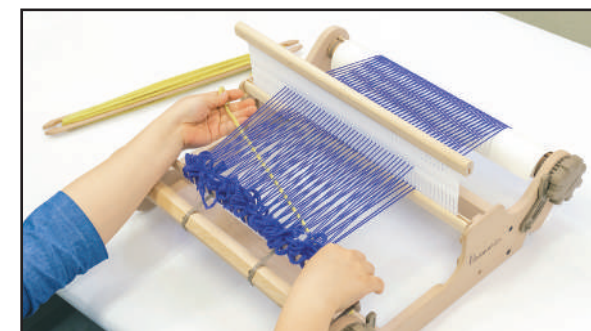
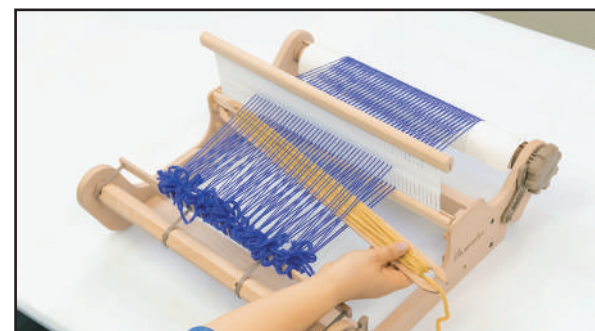
2.



捨て織り用の太い糸を巻きます(A)。もう
1本にはヨコ糸用の糸を厚みが出ない程
度に適量巻きます(B)。

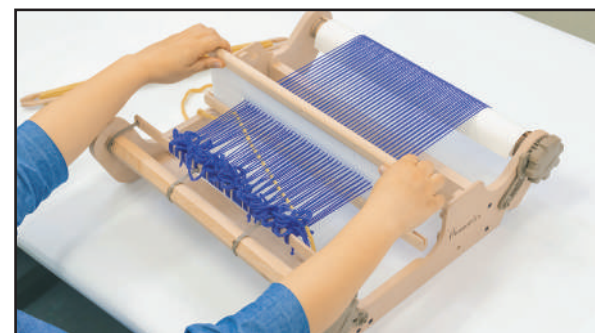
3.

ヘドルをアップポジションに置きます。タテ糸が上下に分かれて糸道ができます。捨て織り用の糸
を糸端約10cm残して糸道に約30度斜めに入れます。斜めにするのは織り縮みを防ぐためです。



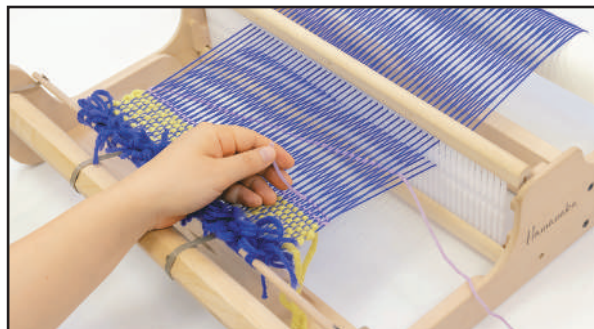
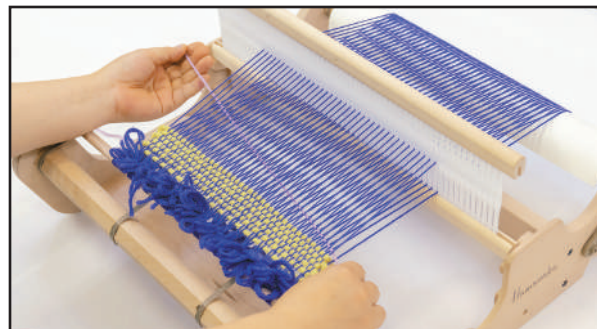
4.

両手でヘドルを手前に引き寄せ、フロントスティックに平行になる様に織ります。(1段目)



5. 次にヘドルをダウンポジションに置き、糸道に今度は反対側からシャトルを通し、織ります。(2段目)
※タテ糸が等間隔になるまでこの作業を繰り返し、糸を切ります。(約5段捨て織りをします。)

6. 捨て織りが終わり、ここから作品を織っていきます。ヨコ糸用の糸を糸端約10cm残して斜めに入れて織ります。(1段目)ヨコ糸2段目を織るときに糸端をタテ糸の端から5本ほど通して上に出し、糸端を織り込みます。この糸端は織り上がった後切ります。



7. 後は、同じ要領で織り進みます。織り端がきれいに仕上がるようヨコ糸の折り返しのとき、折り曲げ部分とシャトル側の糸を指で引っ張り整えます。斜めの角度は糸の種類によって調節します。

注：タテ糸張りを終えた後、作業を中断する時はタテ糸の張りをゆるめて下さい。ローラーと糸に負担がかかります。

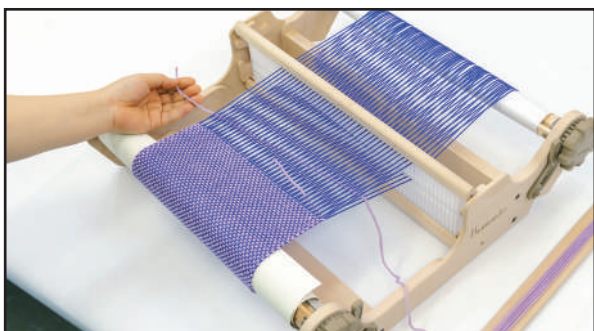
●机に掛けて織る



本体の後ろ側の切り込みをテーブルの端に引っかけて織ることも出来ます。

※オリヴィエアルテアは、机の端に掛けて織る仕様となっております。
現在、お取り扱いがございません。

●ヨコ糸のかえ方(ヨコ糸の色替え・継ぎ足し)



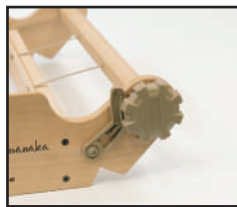
糸端約10cm残して切ります。次の段でこの糸端をタテ糸の端から5〜6本ほど通して上に出し、糸端を織り込みます。新しい糸の段は織り始めと同じように糸端を始末します。

●織り地を巻き取る

織り進んで、ヨコ糸の糸道が狭くなったらヘドルをレストポジションに置きバックギアをゆるめ、織り地をフロントローラーへ巻き取ります。織り地とフロントローラーの間にも巻き紙を挟み込みます。



ストッパーをはずした状態



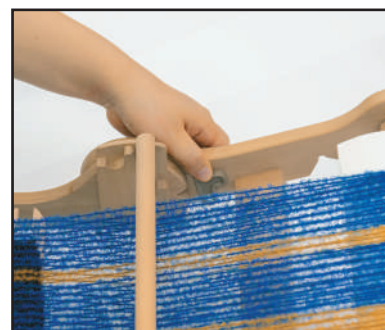
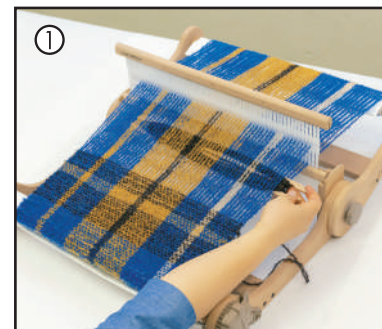
ストッパーをとめている状態

収納・持ち運び方法

(オリヴィエアルテアのみ)

現在、お取り扱いがございません。

シャトルを糸道に入れ、(写真①)ヘドルをトラベルポジションに入れます。(写真②)



サイドギアをゆるめ、L字型ストッパーを切り込みからはずします。

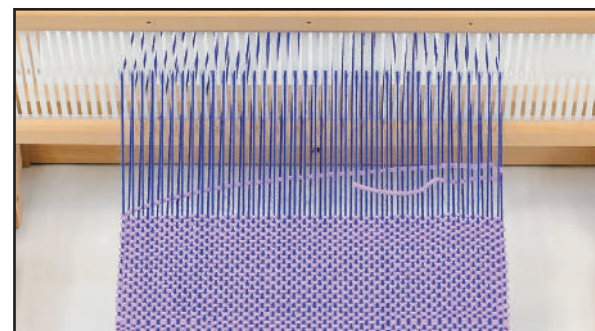


バックローラー側をフロントローラー側へ倒し、折りたたみます。

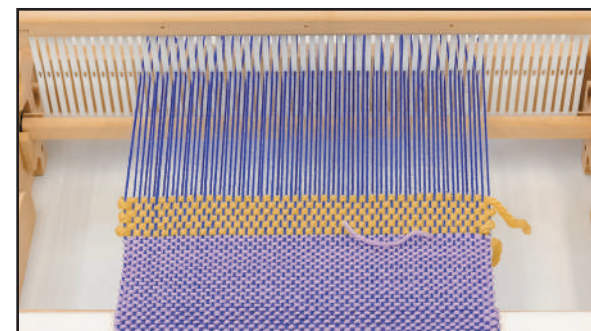


サイドギアをしめて固定します。持ち運ぶ際はレール部分を持ちます。

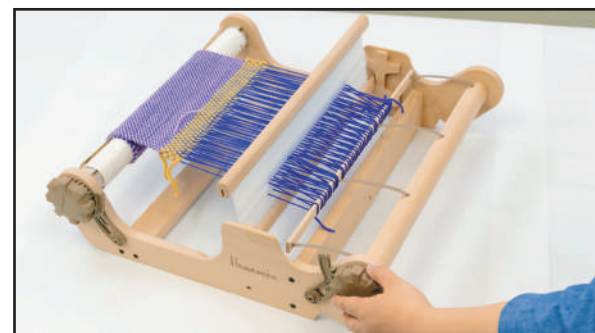
織り終わり



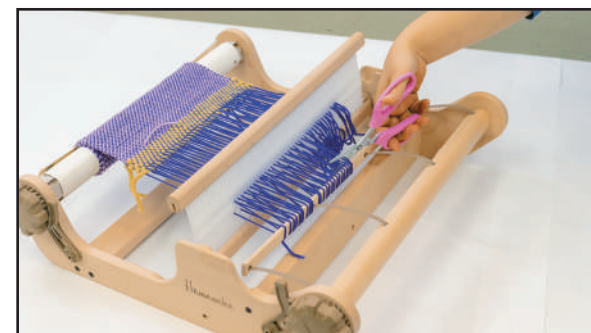
織り終わったら、最後の1段を織り込む前にヨコ糸を約10cm残してシャトルから切り離し、1番端のタテ糸にかけて端から5〜6本通して、上に出し織り込みます。



最後に約5段の捨て織りをします。



ヘドルをレストポジションに置き、ストッパーをはずします。



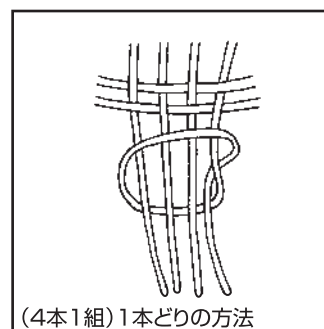
バックスティックにかかったタテ糸を切り、ヘドルから抜きます。巻き取った織り地をとりフロントスティックに結びつけたタテ糸をほどきます。

仕上げ方

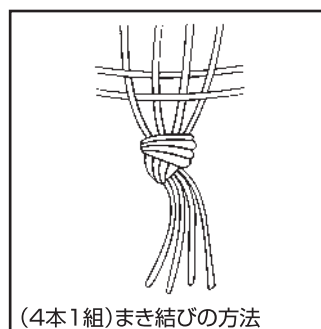


捨て織り部分を抜き取り、フサの始末をします。
おもりをのせると作業しやすくなります。
ヨコ糸がほつれないように捨て織り部分を数センチずつ抜き取りながら始末します。

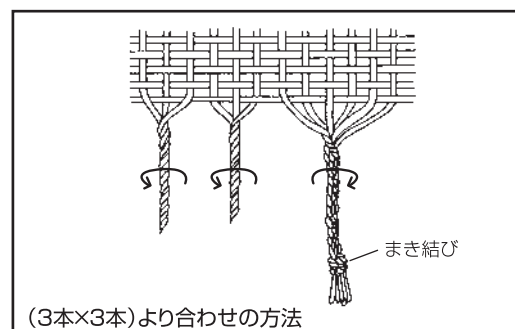
フサの始末の仕方いろいろ



(4本1組) 1本だけの方法



(4本1組) まき結びの方法



(3本×3本) より合わせの方法

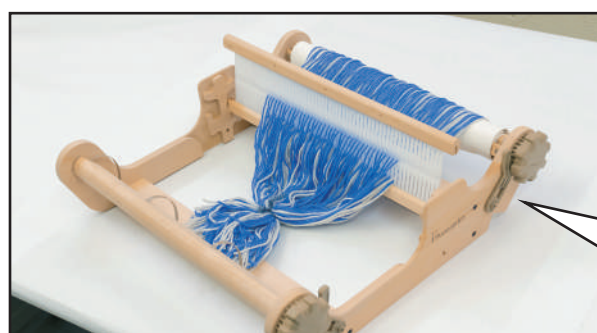
二重織りの織り方

使用糸: リッチモア スペクトルモデム (40g/約80m)

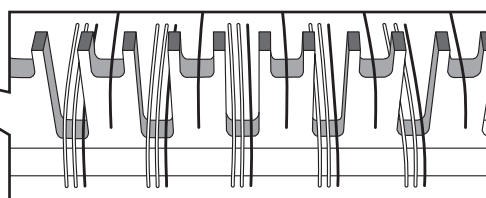
用意するもの: オリヴィエ リラ40、ヘドル30羽 2枚(内1枚は別売り)、シャトル 2本(ピックアップ用・別売り)

タテ糸の準備

- ① 4ページのタテ糸の準備を参照し、1つのすき間に白い糸2本、青い糸2本の合わせて4本を通していきます。白い糸と青い糸を1本ずつ手にとり、2本引きそろえと作業しやすいです。ヘドルは後ろ側のレストポジションに置きます。



- ② 1番左の隙間にある4本から、青い糸を1本だけ抜きとり、右隣の穴に通していきます。端まで繰り返します。



- ③ 2枚めのヘドルを手前側のレストポジションに置きます。後ろのヘドルに通した糸を前のヘドルの上にかぶせておきます。

- ④ 前のヘドルの左側の隙間から、その真後ろの隙間の3本(白2本・青1本)と、②で穴に通した青1本の合計4本をいちどに引き出します。右端まで繰り返します。

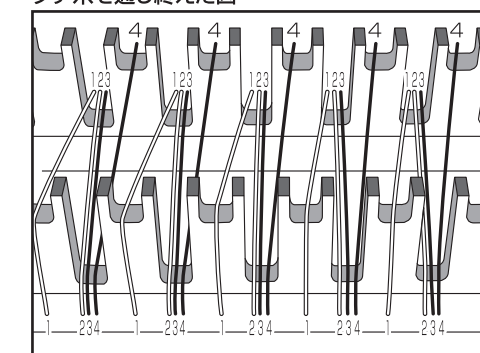


- ⑤ 再び左側に戻ります。4本の糸のうち、白1本を左隣の穴へ移していきます。前後のヘドルの間で糸が交差しないように注意して作業しましょう。

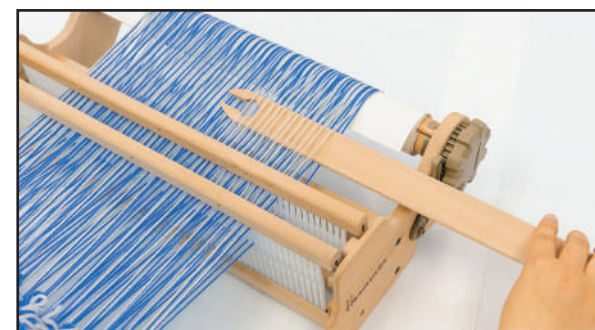


- ⑥ 7ページ11.の要領でタテ糸をフロントスティックに結びます。

タテ糸を通し終えた図



- ⑦ 両方のヘドルをダウンポジションに置き、ヘドルの後ろ側で上になっている白い糸を全てピックアップし、シャトルを通しておきます。(ピックアップスティックA)



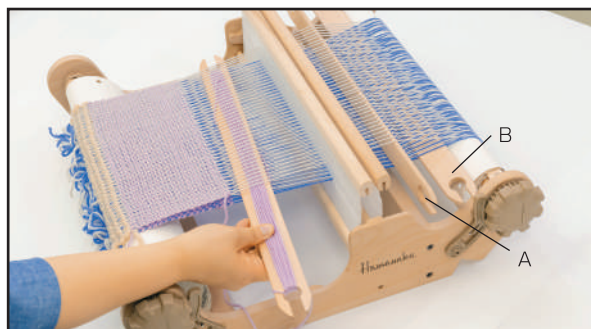
- ⑧ 両方のヘドルをアップポジションに置き、⑦のピックアップスティックAを後ろ側へずらし、そうしてできた下の糸の間にシャトルを通します。(ピックアップスティックB) ピックアップスティックA・Bは両方ともバックローラーの方へ寄せておきます。



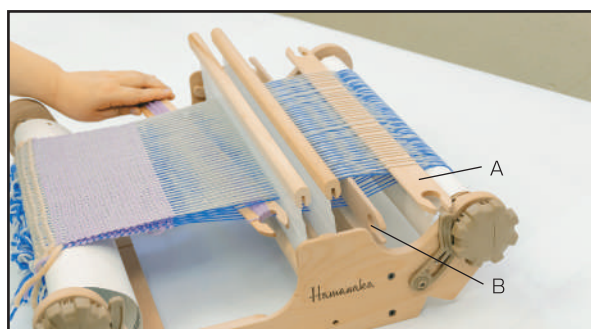
織ります

〈織り幅の2倍の幅を織る場合〉

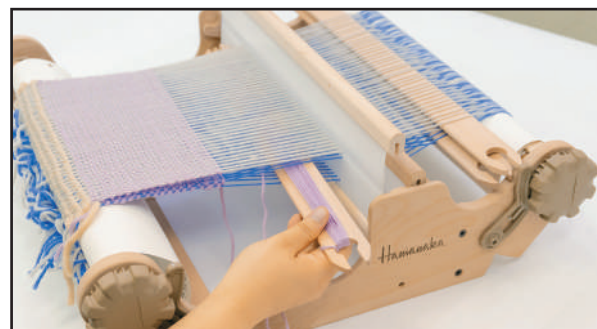
- ① 前後のヘドル:レストポジション
ピックアップスティックAを手前にずらして立て、1段織ります。
ピックアップスティックAを元の位置に戻します。
※織るときは手前側のヘドルを手前に引き寄せます。



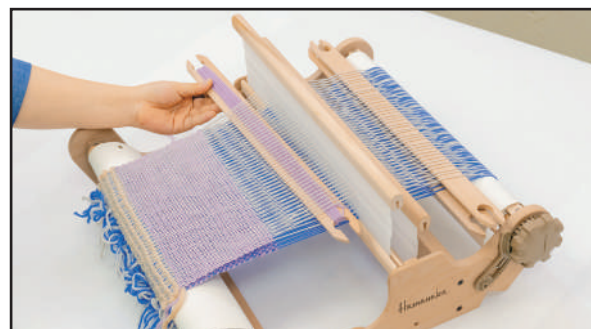
- ② 前後のヘドル:レストポジション
ピックアップスティックBを手前にずらして立て、1段織ります。
ピックアップスティックBを元の位置に戻します。



- ③ 後ろのヘドル:ダウンポジション
前のヘドル:レストポジション 1段織ります。



- ④ 後ろのヘドル:レストポジション
前のヘドル:アップポジション 1段織ります。



- ⑤ ①～④をくり返します。
下の層で糸を引っかけてしまわない
様に注意しましょう。
片端は2枚に分かれ(写真a)、反対側
の端はつながった状態になります(写
真b)。織り終えてから織り地を広げ
ると、織り幅の2倍の幅の布ができあ
がります。



〈2枚の織り地を同時に織る場合〉

- ① ヨコ糸を巻いたシャトルを2本用意します。(白1本・青1本)
- ② 白い糸のシャトルで①・④、青い糸のシャトルで②・③の順で織ります。
両端ともが2枚に分かれ(写真a)上の層で白い織地、下の層で青い
織地ができあがります。

〈つつ状の織り地を織る場合〉

- ① ①・②・④・③の順で織ります。
両端ともがつながった状態(写真b)になります。

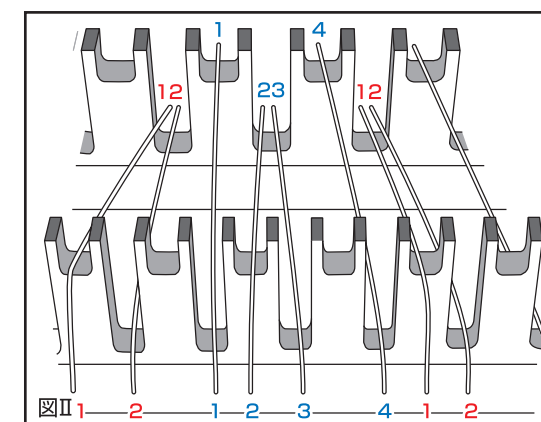
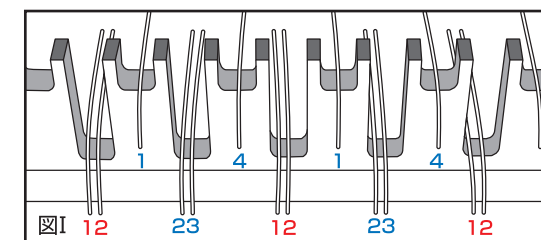
綾織りの織り方

使用糸:リッチモア スペクトルモデム(40g/約80m)

用意するもの:オリヴィエ リラ40、ヘドル20羽(別売り)、40羽(別売り)

タテ糸の準備

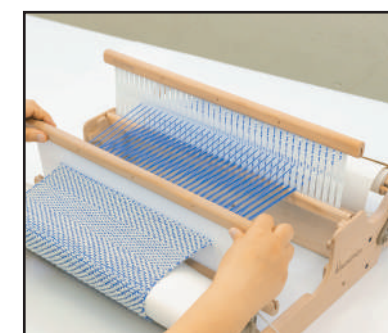
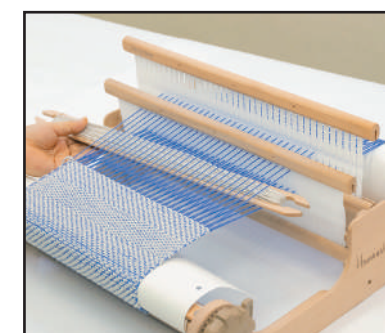
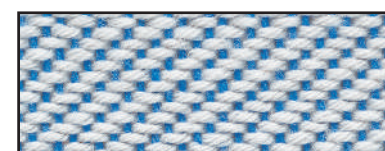
- ① 4ページのタテ糸の準備を参照し、20羽のヘドルに、1つの隙間に2本、次の隙間に4本通します。この2本と4本を繰り返します。
ヘドルは後ろ側のレストポジションに置いておきます。
- ② 2本通している隙間の糸は動かさずにそのままにしておきます。
4本通っている隙間から糸を抜き取り、1本は左隣の穴に、もう
1本は右隣の穴に通していきます。残った2本は隙間に通したま
まにしておきます。(図I)
- ③ 40羽のヘドルを手前側のレストポジションに置きます。後ろのヘ
ドルに通した糸を前のヘドルの上にかぶせておきます。
- ④ 1. 前のヘドルの穴に、その真後ろの隙間に通っている2本のうち
1本を引き出します。(図IIの1または2)
2. 残りの1本は前のヘドルの隣の隙間に通します。(図IIの2または3)
3. 前のヘドルの穴1つを何も通さずにとばします。
4. 前のヘドルの左の隙間から、その真後ろの穴に通した1本を引き
出します。(図IIの1または4)
5. 1. ～ 4. をくり返します。(図II)



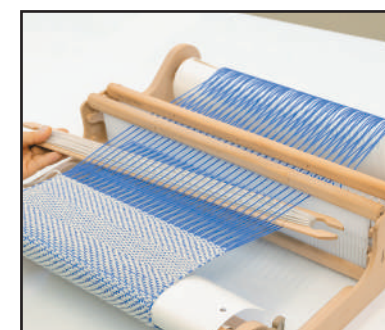
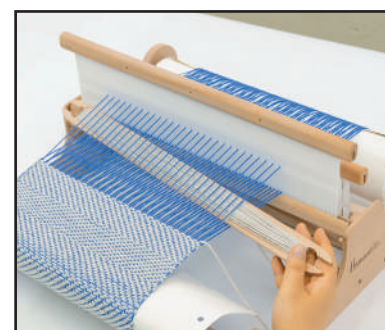
織ります

〈右上がりの斜め模様〉

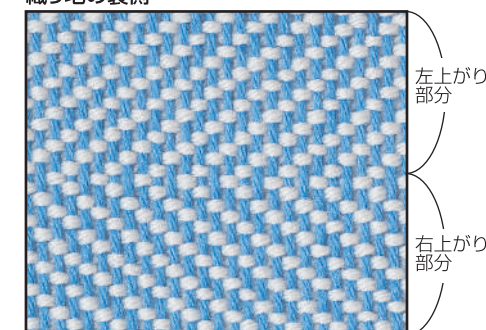
- ① 後ろのヘドル:アップポジション
前のヘドル:レストポジションで
1段織ります。



- ② 後ろのヘドル:レストポジション
前のヘドル:アップポジションで1段織ります。
- ③ 前後のヘドル:ダウンポジションで1段
織ります。



織り地の裏側



〈左上がりの斜め模様〉

- ②・①・③の順で織ります。

